|  |
| --- |
| 実技課題「軸組・小屋組部材加工」実施要領 |

１．実技課題概要

内容：課題図及び仕様に従い、軸組模型の作成と寸法・仕口の精度の確認作業

大工用工具・電動工具の取扱い及び基本の墨付け加工・組立作業の習得度を評価する。また、安全に作業ができるか評価する。

２．作業時間

標準時間 240分（4時間）

（標準時間のうち、100分は、木づくり・墨付けの標準時間とする。）

打ち切り時間 270分（4時間30分）

（例）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 標準時間  240分 | 木づくり・墨付け | 加工組立て時間 |
| 100分 | 140分 |

３．準備事項

（１）　事前（前日まで）に課題図面を配布すること。また、質問等は事前に受け付けておくこと。

（２）　支給材料  
　角材：1500×90×90 1本（柱・桁・母屋・梁・飼木（ねこ））  
　　　　500×90×90 1本（垂木）  
　　　　材種は、杉・松等とするが、施設の実情に合わせて、適宜選択すること。  
　釘　：N65　2本　　　　N75　2本

４．実施上の留意事項

（１）　システム（床組施工・軸組施工）を履修後、訓練課題を実施すること。

（２）　材料を配布し、大きな欠陥があれば交換すること。

（３）　時間管理に気をつけるとともに、穴あけ機械等の使用状況を管理しながら、途中、垂木の検査を実施し、評価シートを使い評価すること。

（４）　課題実施後、訓練生立会いの下、速やかに評価シートを使い、訓練課題を評価すること。

（５）　安全上及び墨付け後の確認・評価を行うことから、指導員2名以上配置して実施することが望ましい。

【課題作成の流れ】

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 注意事項  ・説明 |  | 作業工程計画書の作成 | |  | 木づくり  (垂木のみ) |  | 墨付け |  | 加工  組立て |  | |
|  |  |  | |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  | 確認 （安全作業の注意） | | | |  |  | 垂木の提出・検査 | | |  | 提出 |
|  |  | |  |  |  |  | ※墨付け後評価シートを使い検査を行う | | | |  |

【持ち込み許可物】

訓練生が使用する工具

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 品名 | 数量 | 備考 |
| 大工用手工具 | 1式 | のみ・かんな・のこぎり等 |
| さしがね | 1 |  |
| 墨さし | 1 |  |
| 墨つぼ | 1 |  |
| 自由がね | 1 |  |
| 鉛筆及び消しゴム | 1 |  |

注）上記以外に、各施設で必要な工具を付け加えてもよい。

指導員が用意するもの

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 品名 | 数量 | 備考 |
| 削り台 | 1 |  |
| 作業台 | 適宜 |  |
| ドリル、角のみ | 適宜 |  |

注）上記以外に、各施設で必要な道具を付け加えてもよい。

【訓練課題実施について】

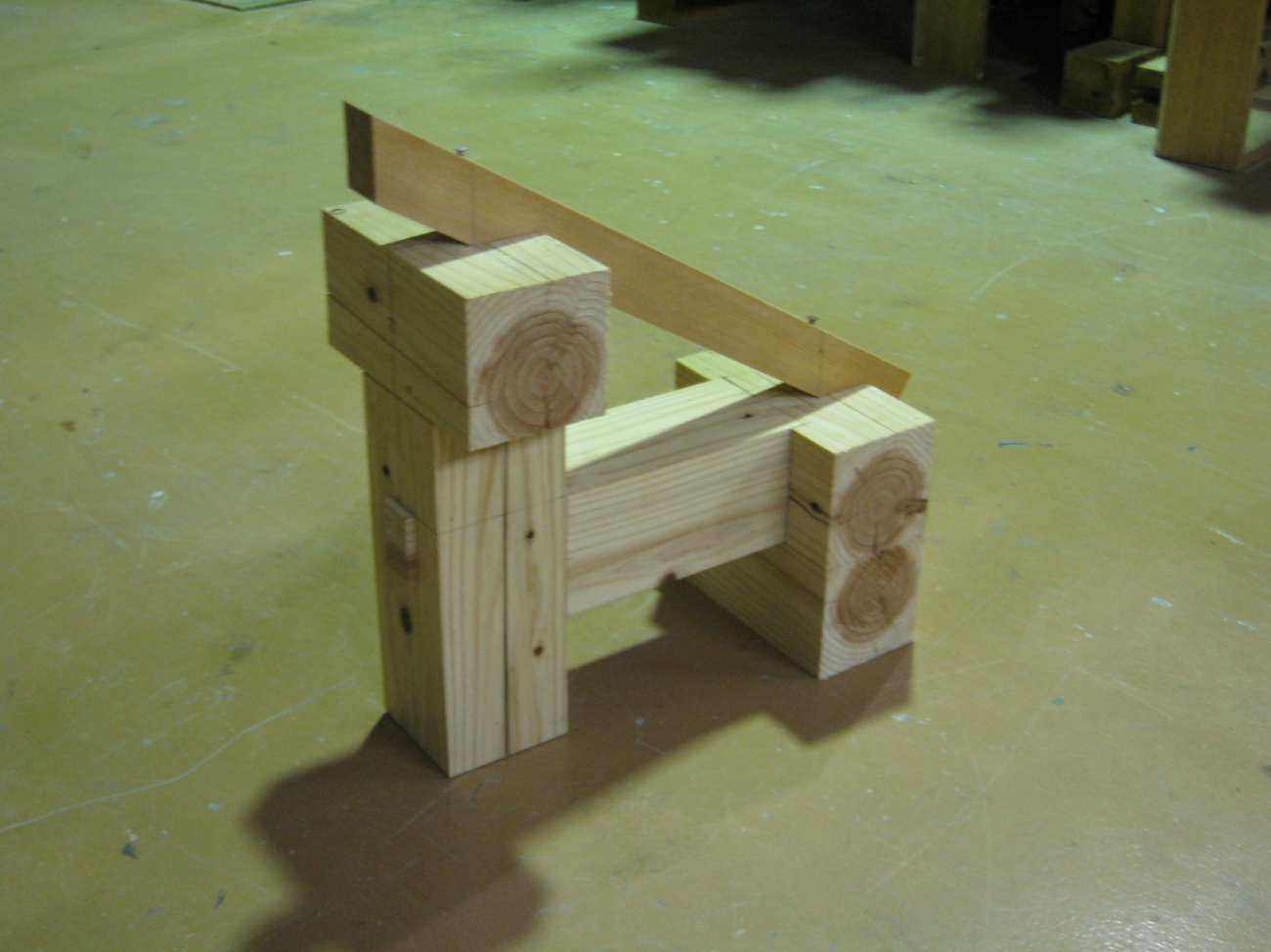
課題作成前日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 課題図面 |  | ・事前に課題図面を配布する。  ・質問などは事前に受け付け、回答しておく。 |

課題作成当日

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ①作業工程計画書 |  | ・作業工程計画書を作成し、作業のポイント・安全を確認する。  ・参考資料等で補足説明を行う。 |
| ②開始前 |  | ・材料を配布し、大きな欠陥があれば交換する。  ・道具を準備し、開始の合図があればすぐに作業できるように準備をさせる。  ・課題作成5分前に、下記の注意事項を説明する。  注意事項   1. 支給された材料に異常がある場合は、申し出ること。 2. 試験開始後は、原則として支給材料の再支給をしない。 3. 試験中は、道具の貸し借りを禁止する。 4. 垂木は、木づくり後に墨付けし、提出検査を受けること。 5. 作業時の服装等は、作業に適したものであること。 6. 安全作業を心掛けること。 7. 作業が終了したら、指導員に申し出ること。 |
| ③試験中 |  | ・指導員は、随時訓練生を見回る。  ・質問には課題作成に差し障りのない程度に答える。  ・機械の空き状況を見ながら指示を出すこと。 |
| ④（垂木の提出・検査） |  | ・垂木の木づくり・墨付けが終わったら垂木を提出させる。  ・垂木の中央辺りに提出した時間を記入する。  ・垂木の各墨付け寸法を測り、評価シートを利用しチェックする。 |
| （終了5分前） |  | ・課題作成終了　5分前になったら「標準終了時間5分前です」と案内する。 |
| ⑤作業終了後 |  | ・試験終了時刻に完成した訓練生から課題を提出させる。  ・作業が終了していない訓練生は引き続き作業をさせる。  ・作業打ち切り時間までの時間を案内する。  「打ち切り時間まであと30分です」など |
| ⑥訓練課題評価 |  | ・訓練生一人ずつ、課題を提出させ、立会いのもと、評価シートを使い課題を評価する。 |
|  |  |  |

【課題の作成例】





評価確認テスト　部材墨付け例

注）上記図面は、材料長さを1400mmとしているが、木割れや節を避けること等を勘案し、角材は、1500mmで支給すること。